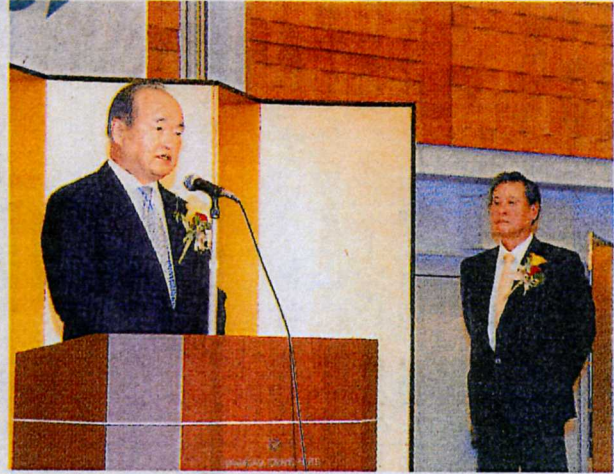


県産業賞受賞たたえる

山形で日新製薬と第一貨物 祝賀会



謝辞を述べる武藤幸規第一貨物社長
(左)と大石俊樹日新製薬社長
山形市・山形グランドホテル

本年度の県産業賞を受賞した医薬品製造の日新製薬(天童市、大石俊樹社長)と、運送業などの第一貨物(山形市、武藤幸規社長)の受賞祝賀会が14日、山形市の山形グランドホテルで開かれた。本県産業界から

関係者約160人が出席し、地域経済の発展などに貢献した両社の功績をたたえた。発起人を代表し、県経営者協会の黒沢洋介会長が「両社の発展を支えているのは両社長の卓越した手腕

と社員の頑張り。多くの雇用を生み出すなど、地域社会に貢献している両社を祝うとともに、感謝する日にしたい」とあいさつ。吉村美栄子知事、市川昭男山形市長、山本信治天童市長が祝辞を述べた。

大石社長が「これからますます頑張り、会社を大きくしていくことで、山形を支える一助になりたい」、武藤社長が「受賞を機に襟を正し、お客さまの利便に因應するため専心努力していくことで、県産業の隆盛に少しでも寄与していきたい」と謝辞を述べた。

日新製薬は、強力な光をパルス照射してポリエチレンボトル注射剤を最終滅菌する技術を世界で初めて医薬品に実用化。高度な技術に基づく積極的な経営方針で業容を拡大、地域雇用の創出にも大きく貢献した。地域の活性化やスポーツ振興などにも寄与している。

第一貨物は、顧客がインターネットで荷物の出荷や配送状況を確認できる貨物追跡サービスを国内で最初に導入。顧客の利便性向上と業界の革新に大きく貢献した。廃食油から精製するバイオディーゼル燃料の使用や植林など環境保全活動も積極的に展開している。